助成･寄付寄贈報告

◆ みつばちを利用されている保護者様より　おもちゃ、子ども用品 他

厚く御礼を申し上げます

研修会･講演会のご案内

◆ 定期研修会　　参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000 円

参加資格：スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。初めて参加される方は Be サポートまでご連絡ください。

①「子どものそだち研修会」　7/18、9/19、11/2、1/16、3/20　　18:30～21:00　　奇数月水曜日開催

場所：プラサヴェルデ

子どもの育ちを支援する専門職による事例検討勉強会です。支援者ネットワークとしても生かされます。

②「東部アセスメント研究会」　6/20、8/22、10/17、12/19、2/20　　18:30～21:00　　偶数月水曜日開催

場所：プラサヴェルデ

心理検査の事例検討を中心とした研究会です。参加者同士で意見交換をしあい、学びを深めます。

Be サポート業務一覧

相談・カウンセリング事業

カウンセリング、プレイセラピー、各種心理検査

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力

静岡県ひきこもり支援センター居場所設置運営事業
伊豆市・伊豆の国市・清水町 母子保健事業
（乳幼児健診・発達相談・療育教室）
函南町・清水町・伊豆市教育委員会
（就学支援・特別支援教育・巡回相談）
伊東市・富士市 市民メンタルヘルス相談
県および市町主催ゲートキーパー養成事業
県立高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー
NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター
社会的養護関係施設第三者評価事業

不登校・ひきこもり支援事業

伊豆圏域不登校ひきこもりサポート「とっこ」

被災者支援事業

東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

企業・事業所への支援事業

メンタルヘルスカウンセリング
企業研修会への講師派遣

研修・啓発事業

専門職対象の定期研修会開催
一般市民対象の講演会開催

児童発達支援事業

障害児・者総合サポートセンターみつばち
（児童発達支援「あんず」・放課後等デイサービス「かりん」
保育所等訪問支援
指定計画相談支援・指定障害児相談支援）

平成 30 年 1 月～4 月　　依頼協力事業

◆ メンタルヘルス管理職研修会　講師　1 月 5 日　株式会社イーシーセンター

◆ ゲートキーパースキルアップ研修会　講師　3 月 1 日　熱海保健所

Be サポート　会員募集

NPO 法人とは利益を目的とせず、社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 56 名、賛助会員 4 名、学生会員 1 名（2018.4 時点）で活動しております。私たちの活動を応援してくださる会員の方を募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会の参加費用免除が適用されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員登録を希望される方は Be サポート事務所までご連絡ください。

特定非営利活動法人　臨床心理オフィス　Be サポート

クローバー通信

2018 年 5 月 15 日発行　Vol.17

NPO 法人 臨床心理オフィス Be サポート
〒4100056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201
Tel/Fax　055-925-1701
Mail　be-sapo@mail.wbs.ne.jp
HP　http://be2011.jimdo.com/
発行責任者　皆川行寛

Be サポート８年目、節目に向けた新しいステージへ

Be サポート理事長　皆川行寛

NPO 法人臨床心理オフィス Be サポートは、平成 23 年 5 月 24 日に法人として活動を開始し、間もなく 8 年目に入ろうとしています。当初、「身近なカウンセリング及び信頼性の高い心理検査の提供」「不登校ひきこもりの支援」「発達障害児への支援」を活動の三本柱として掲げ、手探りで活動を展開してまいりました。7 年の間に、近隣市町のご協力や医療機関からのご紹介など、徐々に活動の場も広がり現在に至っています。

三本柱のうち、「身近なカウンセリング及び信頼性の高い心理検査の提供」という目標は、1 年目には約 200 件だった相談カウンセリングが、昨年度は約 1.5 倍の約 340 件に増えました。さらに心理検査に至っては、1 年目には約 30 件でしたが、昨年度は約 220 件と大幅な増加となりました。これも、関係機関様からのご紹介のおかげと深く感謝しております。また、「発達障害児への支援」に関しましては、平成 26 年度に、児童福祉法に基づく静岡県指定障害児通所支援多機能型事業所「障害児・者総合サポートセンターみつばち」を開設し、放課後等デイサービス「かりん」、児童発達支援「あんず」を順次スタートさせました。発達障害児支援事業所が乱立している昨今において、臨床心理士が個々の子どもの発達を見極め、個性に応じた適切な関わりの効果について、大変高く評価していただいています。

「不登校ひきこもりへの支援」につきましては、法人設立当初から、静岡県東部健康福祉センターや静岡県教育委員会へ事業協力し、また、27 年度からは、静岡県ひきこもり支援センター居場所設置運営事業の受託を頂き、事務所上階にて、ひきこもり居場所「なごみ」をスタートさせることができました。しかし、法人独自の事業展開には至っておりませんでした。その理由として、不登校ひきこもり支援に対する事業助成などが少なく、独自資金で運営することが困難であったことがあります。また、事業が拡大する一方でスタッフが足りず、新たな事業展開に手が回らないということもありました。

しかし、今年度からスタッフ増員もかない、ようやく伊豆圏域で独自のひきこもり支援事業を展開する方向になりました。残念ながら静岡県の受託には力及ばず充分な運営基盤がない中での、ほぼ持ち出しの厳しい事業展開となります。ですが、設立十年の節目に向けて三本柱のうちの最後の事業をしっかりと根をおろしていきたいと思います。

今後は、既存事業の見直すべき点は早急に改善し、利用して下さる方にとってもより快適な環境を整えつつ、よりお役に立てる事業を展開していくために、スタッフ一同一生懸命に関わる所存でおります。なにとぞ、皆さまのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

伊豆圏域の不登校ひきこもりサポート「とっこ」発足

このたび5月18日より、伊豆圏域の不登校ひきこもりサポート『とっこ』をスタートさせることになりました。静岡県内の不登校の数は、国全体の率を上回り、残念ながら年々増加傾向にあります。その中でも、伊豆圏域は特に不登校の数が多いのですが、フリースクールなどのサポート資源がほとんどありません。もちろん、学校現場でも相談室での対応や適応指導教室の充実など対応に力を入れていますが、不登校のお子さんは、スクールカウンセラーに相談するために登校することも難しいことが多く、家庭に閉じこもりきりになってそのまま長期のひきこもりに移行する心配が高くなります。

「とっこ」は、学校以外の居場所、相談場所として機能できることを期待し、幅広い年齢の方を分け隔てなくお受けする予定でおります。同年齢の集団が苦手なお子さんでも、自分と違う年齢の人の方が抵抗が少ない場合も多いものです。臨床心理士スタッフと認定心理士資格を持つ現職教員が、さまざまな年代の方の気持ちに寄り添い、コミュニケーションのお手伝いをしていきます。

さらに「とっこ」の強みは、学校や市町福祉課、保健センターなどと連携しながらサポートできること、個別カウンセリングや心理検査も可能なこと、医療へのご紹介、連携ができること、などがあります。これまでのBeサポートのネットワークを生かし、微力ではありますが、東部地域の不登校ひきこもりのサポートの一端を担っていけるよう頑張っていきたいと思います。

会員の皆様からの、必要物品（ボードゲーム、マンガ、など）のご寄附ご協力をよろしくお願いいたします。

伊豆圏域の不登校、ひきこもりサポート『とっこ』

場所　伊豆市生きいきプラザ２階談話室

日時　毎週金曜日午後１時～4時　当事者のための交流スペース　午後４時～5時　当事者・ご家族の無料相談（予約制）

内容　おしゃべり、ハンドクラフト、レクリエーション、クッキング、ウォーキングなど、お好きに過ごしても OK。学習もできます

交流スペース利用料金　１回 100 円（活動保険料として）

お問い合わせ・お申込みは…　Be サポートまで　（　Tel/Fax : 055-925-1701　　Mail : be-sapo@mail.wbs.ne.jp　）

発達障害支援事業第５回講演会「生活習慣を身に着けよう～発達に偏りのあってもなくても～」開催

横山浩之 先生

３月18日（日）に、プラサヴェルデの会議室で、第５回発達障害者支援事業講演会「生活習慣を身につけよう～発達に偏りのあってもなくても～」を開催しました。

今回のテーマは、担当スタッフが発達障害の基礎知識や対応も大切だが、生活の基礎となる部分はさらに大切であると日々感じていること、そういった切り口でお話をしてくださる先生を探していると会員の方に相談したところから始まりました。そこで、福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療センター教授の横山浩之先生をご紹介いただきました。

「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さや、メディアとの付き合い方など、具体例を挙げながら、時には様々なデータを示されながらの講演でした。保護者や支援者様々な立場の方が聞いても、大変わかりやすく明日から実践できる内容だったと感じています。

会員も含め93名の方が、参加してくださいました。アンケートにも73名の方に協力いただいています。「講演がわかり易かったか」５点満点で平均が4.85、「役にたったか」５点満点で平均4.83と高得点でした。参加された方が、子供たちと関わるヒントを得て帰られたのであれば、幸いです。今後も、多くの方が関心を持っているようなテーマで講演会を継続していきたいと思っています。

活 動 報 告

障害児・者総合サポートセンター「みつばち」

児童発達支援「あんず」は、今年度も元気いっぱいスタートしました。言葉カードや制作で季節を感じ、暖かくなってきたので、お外でなわとびなど体を動かす活動も増えてきました。

５月になり、去年は沢山の収穫ができたお野菜の苗を植えました。今年は、ミニトマト、ゴーヤ、ピーマン、インゲンをプランターに植えました。

お野菜の苗は、お店の園芸コーナーで購入。年長さんと年中さんのおともだちが、ドキドキしながらお店の人にお金を出して、おつりをもらい買ってきました。それから、去年、沢山咲いたアサガオから取れた種も蒔きました。みんなで植えた後、「また、おみずやりおねがいね。」と伝えると、去年水やりが大好きだったおともだちは、満面の笑みを浮かべて頷いてくれました。はりきって水やりをしてくれる子どもたちの姿を想像して、嬉しくなってしまいます。

ツルが伸びるアサガオやゴーヤが、また緑のカーテンを作って、この夏が快適に過ごせますよーに☆お野菜を収穫して、またみんなで食べられるよーに☆と、成長を観察しながら子どもたちと大切に育てていきたいと思います。

東日本大震災被災者支援事業 OHANA

３月４日の非常に暖かな日に、情報交換交流を兼ねて静岡・焼津へ行ってきました。静岡市にある、ふじのくに地球環境史ミュージアムは、「人と自然の関係の歴史から未来の豊かさとは何かを考える」ことをテーマとしたミュージアムで、標本や資料の力を大切にされているとのことでした。解説員の方々の説明を聴きながら見て、触れて、展示品の写真を撮ったりと非常に興味深く見学しました。焼津さかなセンターでは、お寿司を食べたり買い物をしたりと海の幸を味わい楽しみました。ディスカバリーパーク焼津では、プラネタリウム鑑賞をしました。科学とあそびが融合した体験型特別展も開催されており、子どもも大人も楽しく過ごしました。また、この季節柄に丁度よく、焼津朝比奈川の土手で満開の河津桜並木を鑑賞することができました。

子ども達は、少しお久しぶりの再会に初めは照れているようでしたが、いつの間にか馴染んでいました。また、いつもは少食だというお子さんもたくさん食べたり見学や体験を楽しんだりしていました。

参加者の方より、静岡県は気候が温暖でこちらに来てよかったという声を伺いました。今後も、色々な意味で温かさが伝わるような関わりをしていけたらと思っております。

「みつばち」保護者からの事業所評価

平成29年度より、児童通所支援事業所が「保護者等による事業所評価」のアンケートを配布し、集計・公表することとなりました。みつばちでも、保護者の方にご協力いただき、平成29年度３月にアンケート調査を実施いたしました。本来は、児童発達支援と放課後等デイサービスのアンケートは別の用紙だったのですが、すべて児童発達支援用のアンケートを配布してしまいました。しかし、事業所の評価として大まかなラインは同様なため、そのまま集計させていただきました。平成30年度は、そのような誤りがないよう、注意したいと思います。

おおむね、満足していただいているという結果でしたが、今後の課題と思われるご指摘も多くありました。保護者会等の開催による保護者同士の連携の支援が不十分であること、事業所内の活動がホームページなどで発信されていないこと、緊急時対応マニュアルが保護者に周知されていないことなど、早急に改善しなければと大いに反省する内容でした。平成30年度は、課題にひとつずつ取り組み、安心して利用していただける事業所を目指します。

アンケートの詳細は、今後ホームページに掲載したいと思いますので、そちらもご参照ください。